



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4348 URL <https://www.infocom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 教博  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 田中 新也 TEL 03-6866-3160  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 2019年3月期第1四半期決算補足説明資料  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	10,464	5.2	677	3.9	720	6.3	479	11.4
2018年3月期第1四半期	9,949	11.7	651	302.4	677	305.8	430	678.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 718百万円 (105.3%) 2018年3月期第1四半期 350百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	17.52	17.44
2018年3月期第1四半期	15.73	15.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	36,247	28,342	77.7
2018年3月期	38,237	28,360	73.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 28,181百万円 2018年3月期 28,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	28.00	38.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	10.00	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	23,000	8.5	2,600	9.9	2,650	0.6	1,800	△30.1	65.82
通期	50,000	9.2	6,500	11.5	6,550	9.5	4,500	△3.0	164.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	28,800,000株	2018年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,451,546株	2018年3月期	1,451,481株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	27,348,485株	2018年3月期1Q	27,344,250株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当四半期決算補足説明資料は、TDNetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載します。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、貿易摩擦の拡大等による海外リスクが懸念されるものの、輸出や設備投資の底堅い増加や、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費の持ち直しの動きがあり回復基調で推移しました。

IT関連市場では、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末によるクラウドサービスの利用とともに、AIやIoTのビジネスへの適用拡大、「働き方改革」の実現に向けたRPAの本格活用等により、IT需要全体が好調に推移すると見られています。

電子書籍市場は、2017年8月頃から急増していた海賊版サイトの影響が沈静化したことにより、成長基調を回復しています。

このような経営環境において、当社グループは中期経営計画(2017年4月～2020年3月)の基本方針である「成長の追求」と「成長を支える経営基盤の継続的強化」の下、電子コミックとヘルスケアを重点事業として、M&Aの積極的推進に加え、AIやIoTを活用したビジネス展開等に取り組んでいます。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高10,464百万円(前年同四半期比5.2%増)、営業利益677百万円(同3.9%増)、経常利益720百万円(同6.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益479百万円(同11.4%増)となりました。

なお、当社グループの業績は、企業や病院向けの製品・サービスの納期が年度末の3月に集中する傾向があるため、売上高、利益ともに第1・第3四半期が相対的に少なくなり第4四半期に集中する傾向を有しています。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ① ITサービス・セグメント

当第1四半期連結累計期間のITサービス・セグメントは、SI案件の剥落により、売上高は4,466百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。また、AI、ヘルスケア事業での先行投入強化により、営業損失282百万円(前年同四半期は営業損失143百万円)となりました。

ヘルスケア事業は、既存の病院・製薬企業向けの製品・サービスの販売促進に加え、診療報酬改定に伴い診療情報管理システムの販売が拡大しました。また、地域包括ケア領域における新たな展開として、医療・介護施設検索サービス「ケアリン」を開始しました。更に、介護職に特化したダイレクトリクルーティングプラットフォーム「ケアスタイル」のβ版の提供を開始しました。同事業では通期売上高目標を達成するため、先行投資を強化し製品ラインナップの拡充及び販売体制の強化を進めています。

企業向けのITサービスでは、統合業務ソフトウェアパッケージの新バージョン「GRANDIT3.0」に加え、オプション製品「RPA Solution for GRANDIT」の提供を開始しました。また、IoTを活用した「食品温度管理IoTサービス」の提供を開始しました。

## ② ネットビジネス・セグメント

当第1四半期連結累計期間のネットビジネス・セグメントは、電子コミック配信サービスが好調に推移し、売上高5,997百万円(前年同四半期比14.4%増)、営業利益957百万円(同20.7%増)となりました。

電子コミック配信サービスでは、(株)集英社との協業企画第2弾として「グランドジャンプめっちゃ」の発売にあわせ、同誌の全掲載作品を「めっちゃコミック」で独占先行配信しました。また、(株)KADOKAWAのコミック提供を開始し、ラインナップを拡充しました。

同サービスでは今後も通期売上高目標の230億円を達成するため、サービス内容の充実に努めます。

なお、連結子会社である(株)アマタスは電子書店4社と連携して、海賊版サイト対策や健全な市場の発展を目的とした「日本電子書店連合」を設立しました。

（2）財政状態に関する説明

①連結財政状態

総資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,990百万円減少し、36,247百万円となりました。負債は、賞与引当金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,972百万円減少し、7,904百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末と比較して17百万円減少し、28,342百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.8%から77.7%に上昇しました。

②連結キャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は16,541百万円となり、前連結会計年度末より88百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主たる増減要因は以下のとおりです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によって得られた資金は1,242百万円（前年同四半期は1,739百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益720百万円（同637百万円）及び売上債権の減少3,268百万円（同2,471百万円）等により増加し、引当金の減少769百万円（同745百万円）及び法人税等の支払1,682百万円（同999百万円）等により減少したものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は551百万円（前年同四半期は325百万円）となりました。これは主にソフトウェア等無形固定資産の取得による支出164百万円（同167百万円）及び投資有価証券の取得による支出279百万円（同106百万円）によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動に使用した資金は781百万円（前年同四半期は423百万円）となりました。これは主に配当金の支払765百万円（同410百万円）によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期第1四半期の連結業績は予定どおりに推移していますので、2018年4月26日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,625	16,537
受取手形及び売掛金	9,707	6,439
たな卸資産	270	762
その他	1,033	1,456
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,636	25,195
固定資産		
有形固定資産	1,004	980
無形固定資産		
ソフトウェア	1,968	1,943
その他	42	41
無形固定資産合計	2,010	1,984
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,693	8,187
貸倒引当金	△107	△100
投資その他の資産合計	7,586	8,086
固定資産合計	10,601	11,051
資産合計	38,237	36,247
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,457	3,119
未払法人税等	1,539	297
賞与引当金	1,211	442
その他	3,460	3,847
流動負債合計	9,667	7,706
固定負債		
その他	209	197
固定負債合計	209	197
負債合計	9,876	7,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,449	1,449
利益剰余金	25,089	24,802
自己株式	△816	△816
株主資本合計	27,312	27,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	964	1,264
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△49	△110
その他の包括利益累計額合計	915	1,155
新株予約権	128	157
非支配株主持分	4	3
純資産合計	28,360	28,342
負債純資産合計	38,237	36,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	9,949	10,464
売上原価	5,389	5,619
売上総利益	4,560	4,845
販売費及び一般管理費	3,908	4,168
営業利益	651	677
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	56
持分法による投資利益	4	4
パートナーシップ利益	0	—
その他	0	0
営業外収益合計	26	60
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	0
パートナーシップ損失	—	15
その他	0	0
営業外費用合計	0	17
経常利益	677	720
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	39	—
特別損失合計	40	0
税金等調整前四半期純利益	637	720
法人税等	207	241
四半期純利益	430	478
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	430	479

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
四半期純利益	430	478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	299
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△47	△61
その他の包括利益合計	△79	239
四半期包括利益	350	718
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	350	719
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	637	720
減価償却費	289	259
株式報酬費用	34	29
のれん償却額	2	—
引当金の増減額(△は減少)	△745	△769
受取利息及び受取配当金	△21	△56
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,471	3,268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△183	△491
仕入債務の増減額(△は減少)	△214	△337
その他	742	246
小計	3,013	2,869
利息及び配当金の受取額	19	55
利息の支払額	△0	△0
事業再編による支出	△293	—
法人税等の支払額	△999	△1,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,739	1,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52	△137
無形固定資産の取得による支出	△167	△164
投資有価証券の取得による支出	△106	△279
投資有価証券の売却による収入	0	30
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△551
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△14	△15
配当金の支払額	△410	△765
非支配株主からの払込みによる収入	1	—
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423	△781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	987	△88
現金及び現金同等物の期首残高	12,408	16,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,395	16,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I Tサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	4,707	5,242	9,949	—	9,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	0	131	△131	—
計	4,838	5,242	10,081	△131	9,949
セグメント利益又は損失(△)	△143	793	649	2	651

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I Tサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	4,466	5,997	10,464	—	10,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	0	22	△22	—
計	4,488	5,998	10,487	△22	10,464
セグメント利益又は損失(△)	△282	957	674	2	677

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。